

ヨーロッパ滞在を終えて

工学系研究科物理工学専攻 博士課程 2年 藤田貴啓

10月6日から10月17日までの約2週間、ヨーロッパに滞在し、パリ(フランス)で行われた酸化物エレクトロニクスに関するワークショップ“Workshop on Oxide Electronics (WOE)”への参加と、Geneva大学(スイス)にあるJean-Marc Triscone教授のグループ、Max Planck Institute(ドイツ)にあるJochen Mannhart教授のグループへの訪問を行った。

WOEでは現在取り組んでいる、絶縁体磁気ドメイン壁における電気伝導の研究について発表を行った。加えて、最前線の研究者の方々の発表を聴講することで、本分野の研究の潮流を肌で感じる事ができた。

訪問した両グループでは、研究施設を見学し、学生や研究員の方々から最近の研究の動向に関するお話を伺った。また、自身の研究に関するセミナーを行う機会をいただいた。他グループの方々と交えて議論を行うことで、研究内容に関する考察を深めることが出来、大変有意義であった。

今回の滞在を受け入れてくださった両グループの皆様、ならびに快く送り出して下さった川崎先生をはじめ、川崎研究室の方々に深く感謝している。最後に、このように貴重な経験を支援して下さったALPS関係者の皆様に心よりお礼を申し上げる。



Workshop on Oxide Electronics での集合写真